

佐賀県におけるヤングケアラー支援に向けた福祉、介護、医療、教育等の連携支援に関する実態及び課題に関する調査

西九州大学健康福祉学部
准教授 加藤稔子

アンケート調査（497名：回答率34.9%）

- ・過去に該当する事例があった（16%：76件）
- ・印象に残ったケース：小学生（30件）
- ・誰のケアをしていたか：母親（36件）

本研究が着目する支援機関・
専門職

アンケート配布数（1424部） / インタビュー調査（22件）

障害者（児）相談支援事業所（370部/6件）

医療ソーシャルワーカー等

（207部/3件）

地域包括支援センター

（126部/6件）

居宅介護支援事業者

（678部/4件）

社会福祉協議会

（20部/3件）

スクールソーシャルワーカー

（23部）

教員

子どもを支援
する団体・機関

ヤングケアラー

家族介護者

ケアが必要な人

インタビュー調査（22件）

- ・子ども支援部門につないだ後、支援経過の情報が得られず「つなぎ力」に不安（高齢者分野）
- ・限られた入院日数で患者の生活課題解決の諸手続等が中心という限界（医療）
- ・当事者や保護者の声を聞く必要、支援だけでなく予防的関わりが必要（障害児・者分野）